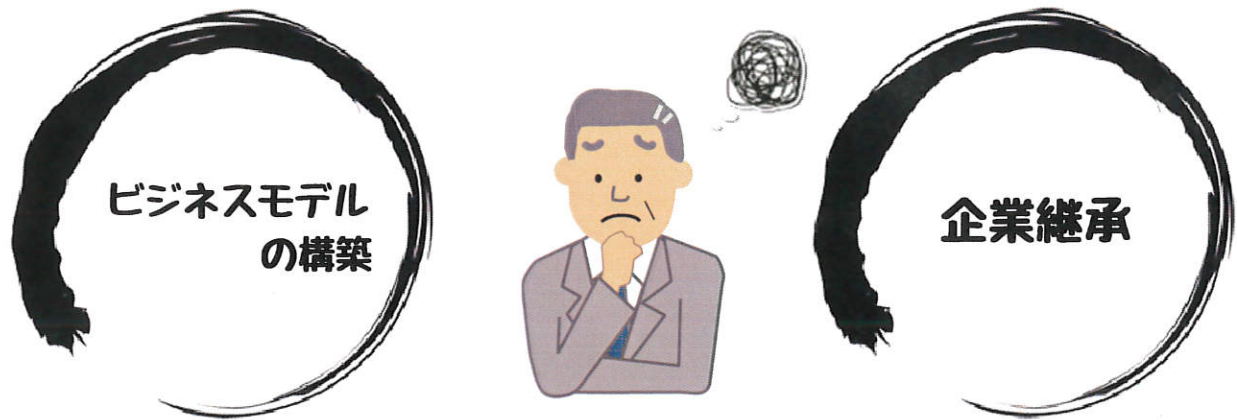


第4回

京都老舗体感ゼミナール

中小企業経営の最終目標は“企業の存続”です。しかし、会社が生き続けることは並大抵ではありません。そのため、「何のために生き続けるのか」という「理念や存在価値」が企業存続の最低必要条件となってきます。

昨今、この“企業の存続”が困難になってきました。自社の経営資源を見直さなければならぬうえに、変革期に合わせた事業モデルの構築と、後継者への承継・人材の育成が同時期に迫っているからです。大変革した時代において新しいビジネスモデルの構築をどのように模索すべきなのか、次の後継者をどのように選別していくべきなのか、という2つの課題に集約されだしています。



そんな中、何百年も続いている老舗企業は、まさに“企業の存続”（ゴーイングコンサーン）のお手本として学ばせていただくべき智慧の宝庫です。商品やサービスの開発、品質維持の仕組み、生産技術の考え方、顧客対応力の継続性、さらには、組織運営からマーケティング、人材育成、後継者教育などに関して、数多くの情報、経験、知識が蓄積されているからです。

こうした老舗の歴代経営者の考え方などを、本場、本物、本人とダイレクトに接することで深く感じる事ができる体験型ゼミ「京都老舗体感ゼミナール」を開講しております。一昨年秋から3回開催し、出席された方々からは大変好評を得ております。

経営の本質に実際に触れてみてください

6月8日(木)・9日(金)

開講予定!

